



# 本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

横浜市立本郷小学校  
学校便り 6月号  
令和2年6月1日

## 学校再開にあたって

校長 福嶋圭輔

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う3月3日からの学校休業がようやく終了を迎え、本日より子どもたちの声が元気に響く本来の学校の姿を取り戻すことができました。

休業中、保護者の皆様には多大なご負担とご協力をいただきました。厚く御礼を申し上げます。また、地域の皆様にはご心配をおかけするとともに多くの励ましのお言葉をいただき感謝の念に堪えません。本当にありがとうございました。

とはいえ新型コロナウイルス感染症予防の対策が終わったわけではなく「新しい生活様式」の定着という新たなステージが始まりました。学校では、子どもたちの安全安心を第一に感染予防を図りながら、学習指導の工夫と学校行事の見直しにより分散登校から徐々に平常授業へと学校教育の復興を目指して参ります。

保護者、地域の皆様には、いつもお願いばかりで恐縮ではございますが、今後も引き続き本郷小学校へのご協力とご支援をお願いいたします。

## 実践躬行（じっせんきゅうこう）

副校長 和田 晋治

「急転直下」による隔世の感を禁じ得ないこのような状況をどれだけの人が予想することができたでしょうか。学校からは子どもたちの声が消えて3か月という長い月日が流れました。子どもたちもそうであったように、本校の職員も新しい学年・学級でのスタートを心待ちにしていました。臨時休校中は子どもたちも保護者の皆様もがまんすることも多かったことと思います。でもその中で戸惑い、迷いながらも「今できること、今すべきこと」を考えて過ごしてきたのではないのでしょうか。

6月1日から、2か月遅れの新年度がいよいよ始まります。分散登校という、これもまた今までに経験したことのない形での授業や学校生活となります。不安や戸惑いもあるかと思われませんが、何よりも子どもたちの笑顔がたくさん見られるよう準備を進めていきます。学習では、残っている前年度の内容を含め1時間ごとの授業の進め方、効率的で深い学びにつながる単元や教科構成の工夫を。学校生活では、新しいメンバーでコミュニケーションをとりながら、目標やきまりを確認しながらの学級や学年づくりを。・・・「やりたいこと、やるべきこと」は山積していますが、学習も学校生活も一月先、学期末、学年末の姿を見据えて、焦らず、確実に「実践躬行」できるよう努めていきます。ご協力をよろしく申し上げます。

# 子どものストレス反応

全世界を巻き込んだ、目に見えない感染症の脅威によって、保護者の皆様はもちろんのこと、子どものころからだにも、大きなストレスがかかっています。ストレスがかかると、子どものころやからだは、それを何とかしようと反応します。

反応が出ることは、とても自然なことです。ここでは、「どんな反応が」「どんな風に出てくるのか」などを、簡単にご紹介したいと思います。

## こころの変化

＜気持ち＞音や揺れなどにビクビクしやすい、不安でいっぱい、イライラする、ひとりになることを怖がる、何も感じない、やる気が出ない、ひとりぼっちな感じがする

＜考え方＞遊びや勉強に集中できない、ボーっとする、自分を責めてしまう、思い出したり覚えたりがうまくできない、ふとした時に災害の記憶がよみがえってくる

＜行動＞落ち着きがない、はしゃぐ、ちょっとしたことですぐに怒る、人に会うのが嫌になる、ベタベタと甘える、感染症ごっこやコロナウイルスごっこ

※ 思春期では、幼稚な反抗や規則や約束を守らないこともあります。

## からだの変化

＜睡眠＞寝つけない、夜中に目が覚める、怖い夢をみる

＜食事＞食欲がない、食べすぎてしまう、おいしいと感じない

＜いろいろな訴え＞頭痛、腹痛、吐き気、めまい、体がだるい

● ストレス反応は、いつもと違うショックを受けた時の自然な反応です。

● 通常は、安全で安心できる生活を続けているうちに徐々におさまっていきます。

# 対応のポイント

## 話す？話さない？

子どもが話そうとしている時は、しっかり聞いてあげましょう。何度も同じ話を繰り返すかもしれませんが、話すことで頭の中が整理されます。話したがない時には無理に聞き出そうとせず、「話したくなったらいつでも聞くからね。」と伝えてあげてください。

## 強がりや反抗も、ストレス反応の1つです

まるで何事もなかったかのように普通にふるまったり、逆にはしゃぎすぎたりすることも反応の1つです。本当は不安でいっぱいです。一時的に、周りの人を怒らせたり、手こずらせたりするかもしれませんが、しばらくすると、少しずつ落ち着いてきます。

## 体調が悪いみたい。大丈夫？

からだの症状を訴えている時は、手当をしてあげましょう。治療のために、病院に連れて行くことも大切です。苦痛を和らげるとともに、手当をしてもらうことで「守られている」という安心感を子どもに与えます。

## 今のところ、元気だから…

反応の強さやあらわれ方・反応の時期は、人によって異なります。今現在、心配な様子がない場合でも、長期的に見守る必要があります。